

府中市 図書館だより

平成22年5月6日
発行 府中市立図書館

第13号

図書館の 活用法 ～調べもの～



浅間山のキスゲと八重山吹

学校の美術の宿題で、ピカソの絵画作品「ゲルニカ」と「ミノタウロマキア」の関連性について調べる課題が出されました。たまたま選択科目で美術をとっただけで、大して絵が好きになわけでもなく、知識もありません。さあ、どうしたらよいでしょう。

ピカソが画家だということや「ゲルニカ」という作品の名前はさすがに知っていますが、「ミノタウロマキア」なんていう作品は見たこともありません。

まず、画集を見て、どんな絵なのか、自分の目で確認してみましょ。

学校の図書館にはピカソの画集が1冊ありました。「ゲルニカ」はちゃんと載っていましたが、「ミノタウロマキア」はありません。

さて、困りました。

市立図書館に行ってみれば別の画集があるかもしれません。

市の図書館の所蔵を調べると、何冊かピカソの画集がありましたが、そのどれに載って

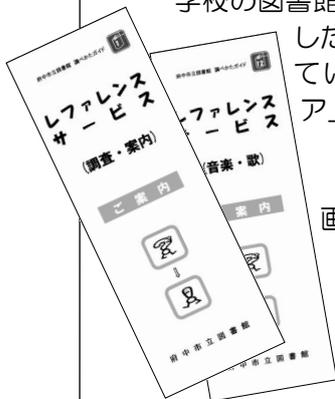
「府中市立図書館調べかたガイド」

るのかはデータからは分かりません。重い画集を何冊も繰って調べるのは大変だなあ、と思っていると、図書館のお姉さんが、「画集を調べるなら、これが一番便利です。」と『西洋美術全集絵画索引』都立中央図書館／監修 日本図書館協会1999年刊(R723セ)を持ってきてくれました。

見ると、何という画家のどの絵が何という全集に掲載されているのか載っている本でした。巻末には索引があり、絵のタイトルで検索することもできます。でも「ミノタウロマキア」では出てきません。ピカソで探すと、似たようなタイトルで「ミノトルの戦い」「ミノトロマキー」「ミノトロマシー」という作品があることがわかり、その内「ミノトロマキー」の載っている『巨匠の世界14 ピカソ』タイムライフブックス刊が地区図書館にあることがわかりました。

早速取り寄せてみると、巻末に索引がありすぐにみつけることができました。絵だけではなく、説明もあります。宿題に間に合いそうです。

図書館では、このような使い方のできる図書も紹介します。こわがらずにカウンターに声をかけてみませんか。



大賀蓮の植え替えをしました

図書館では2007年春より大賀蓮を育てています。春はその植え替えの季節。風は強いけれど、よく晴れた3月11日、蓮の植え替えをしました。泥のつまった重～い蓮の鉢をひっくり返すと・・・立派な蓮根ができました。真っ黒な泥の中からそと取り出し、洗って新しい土の中に戻します。水を加えて完了。ふう～。

なかなかの力仕事で、腰痛が心配です。今年はどうか咲きますように。(祈り)

ホームページにもたくさん写真を掲載しました。どうぞご覧ください。



上：植え替え作業 下：とれた蓮根



デージー図書再生機操作講習・ 図書館見学会

3月2日開催

3月2日（火）に視覚に障害のある方や文字が見えにくい方を対象にデージー図書（録音図書の略称）操作講習会と中央図書館見学会を、ボランティアの方を含め、30名の市民の皆様のご参加を得て開催しました。

デージー図書再生機操作講習会は、講師の方をお招きし、笑い声の絶えない、楽しく有意義な講習となりました。講習会の後、対面朗読室や大活字本など、ハンディキャップサービスコーナーを中心に館内をご案内し、対面朗読体験も行いました。

ここ数年諦めていた読書が再開できることがわかってうれしい、図書館のいろいろなサービスを知ることができてよかった、などの感想をいただきました。

図書館利用にハンディをお持ちの方には、ほかにも対面朗読や点字資料・大活字本の貸出・宅配等のサービスを行っています。ご不自由を感じている方は、ご遠慮なくご相談ください。

問合せ：中央図書館ハンディキャップサービス担当

東芝ソリューショングループ様より 環境に関する図書を ご寄贈いただきました

府中市内の東芝ソリューショングループ様より環境に関する児童書47冊を寄贈していただきました。写真は3月24日に行われた目録贈呈式の様子です。

中央図書館の児童室にしばらくまとめて展示しますので、調べ学習などにご利用ください。



2009年購入の本

「図書館員がご案内する本のコーナー」

『脳の中の「わたし」』 坂井 克之／著
榎本 俊二／絵 講談社

みなさんは、「わたしって何？」と問われて上手に答えることができますか。私たちが日常感じている自我は確か絶対的な存在です。でも、「わたし」が思うから脳が働くわけではなく、脳が働いたから「わたし」が思うのです。では、一体「わたし」はどこに存在するのでしょうか。そんな素朴な疑問を真剣に考えていく、楽しい科学読み物です。（Y）

『やんごとなき読者』 アラン・ベネット／著
白水社

一時間もあれば、読めてしまう小説なのですが、読書好きは『うん、そのとおり』と手をたたいてしまう本です。内容は、英国女王が宮殿内に停車していた移動図書館に偶然入りこみ、高齢になってから読書に目覚め、取り付かれていく様を描いています。もちろん実話ではないでしょうが、女王の孤独な心が、他人の気持ちをどんどん吸収し次のステップへと進んでいく様子は、とてもほほえましいものでした。（A）

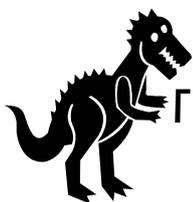
『東京仏像さんぽ』 宮澤やすみ／著
明治書院

歴史好きの女性たちを“歴女”と呼び、テレビドラマに取り上げられた武将はたちまち人気になります。その歴史ブームの影響か、「阿修羅」に代表される“仏像”もブームになりました。有名どころを奈良・京都に見に行くのもよいですが、この本は都内の仏像スポットを、エリアごとに巡り方・楽しみ方を豊富な写真や意外なエピソードとともに紹介しています。おさんぽ気分できれいに訪ねてみませんか。（M）

『蓮100の不思議』
蓮文化研究会／編著 出帆新社

蓮博士の大賀一郎氏がお住まいになっていた府中市。中央図書館は、大賀博士の旧蔵書を整理した大賀文庫の他、特別コレクションとして、蓮関係の資料を収集、保存しています。この本は、観賞用、食用、仏教関係と、幅広く蓮について紹介され、雑学としても楽しむことができます。全100項目、写真と文章で読みやすくまとめられ、好きな項目だけ読んでみるのもよさそうです。（I）





「たのしい恐竜と古生物アートのお話」より

田中真士先生（サイエンスコミュニケーター）



3月25日、ルミエール府中1階で図書館講座「たのしい恐竜と古生物アートのお話」が開催されました。当日は小学生と保護者の方60人あまりが参加され、動物の骨格や恐竜の骨のスライドを見たり、実際の恐竜はどんな色をしていたのかなど、興味のあるお話が聞けました。

また恐竜の骨の絵の上に、トレーシングペーパーを重ねて、想像で肉付けし、自分が思う恐竜の色を塗ってみる楽しいワークショップもありました。恐竜大好き少年少女たちからは質問がたくさんでしたが、講師の田中真士先生（市内在住）は丁寧に一つひとつに回答してくださいました。

当日、時間がなくて答えられなかった質問の回答は、現在、中央図書館3階じどうしつに展示中です。



ご案内

おはなし会の 日程 5月~6月

●中央図書館

おはなしの森

日時／①5~6月の毎週木曜日 午後3時半~4時
*5月6日を除く

②6月5日（土）
午前11時~11時半

対象／3歳~小学生（①は保護者同伴可）

ちいさい子のおはなし会

☆おはなし会後に、絵本の楽しみ方についてのワンポイントアドバイスも行う予定です。

日時／5~6月の第2・4木曜日 午前10時半~11時

対象／1・2歳児と保護者

「おはなしの森」では絵本や昔話の読み聞かせを、「ちいさい子のおはなし会」では赤ちゃん絵本の読み聞かせやわらべうたを行っております。

●地区図書館

おはなしの森

日程／

四谷図書館

.....5月6日、6月3日（木）

押立図書館

.....6月2日（水）

是政図書館

.....5月20日、6月10日（木）

白糸台・西府・新町図書館

.....5月12日、6月9日（水）

片町図書館

.....5月20日、6月17日（木）

武蔵台図書館

.....5月19日（水）

紅葉丘・生涯学習センター図書館

.....5月26日、6月23日（水）

住吉図書館

.....5月27日（木）、6月30日（水）

時間と対象／

午後3時半~4時 / 3歳~小学生（保護者同伴可）

ちいさい子のおはなし会

日時／地区図書館「おはなしの森」と同日の

午前10時半~11時

対象／1・2歳児と保護者



住吉図書館

住吉図書館は、5館目の地区図書館として、昭和49年に開館しました。京王線中河原駅から徒歩3分ほどのところにあります。少し歩くと、四季折々人々を楽しませてくれる多摩川が流れ、広々とした景観がひろがります。

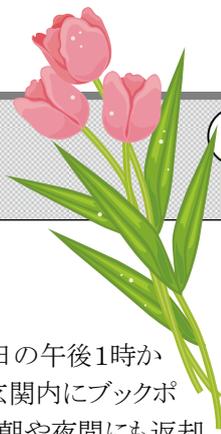
最近では、乳幼児を連れのお父さん、お母さんや高齢者の方の利用も増え、地域の生涯学習の場でもある身近な図書館として親しまれています。蔵書数 約5万3千冊



所在地 住吉町1-61 住吉文化センター3階
 電話 042-360-5775
 開館時間 午前9時～午後5時
 休館日 第1・第3月曜日(ただし、休日・振替休日)にあたる場合は、直後の平日)、祝日、年末年始、臨時休館日

中央図書館の行事予定 ●催しは予約制です。	
5月	16日 講演会「時刻表のできるまでと府中の鉄道話」 26日 図書館ガイドツアー 29日 本の探し方ツアー (OPACの使い方)
6月	26日 本の探し方ツアー (OPACの使い方) 27日 図書館ガイドツアー

掲 示 版



お知らせ

■宮町図書館の今後 H23年4月開館予定

平成20年2月に旧中央図書館の1階部分を利用し宮町図書館が開館しました。

現在、宮町図書館は平成23年3月まで休館し、老朽化した建物の耐震と、ふるさと府中歴史館(仮称)として新しく生まれ変わるための改修工事を行っています。ご利用の皆様には、大変ご迷惑をおかけしていますが、市役所1階の市民談話室に仮のカウンターを設置して、リクエスト資料の貸出・

受付業務を行っています。

カウンターの開設時間は、平日の午後1時から5時までですが、市役所西玄関内にブックポストを設置していますので、早朝や夜間にも返却することができます。

長期にわたってご不便をおかけしますが、来年春に再開する新装「宮町図書館」にご期待ください。

平成21年度図書館だより担当より

昨年度は年4回図書館だよりを発行し、今年度も同様に発行したいと思います。皆様に手にとってもらえるような紙面作りをしたいと思います。なお図書館ホームページでもバックナンバーをカラーでご覧いただけます。

お問合せ

府中市立中央図書館
 〒183-0055 府中市府中町2-24
 TEL 042-362-8647
 ホームページアドレス
<http://library.city.fuchu.tokyo.jp>